

News Release

2021年11月11日

報道関係 各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン、 性的マイノリティに関する取り組みを評価する 「PRIDE 指標 2021」で「ゴールド」を獲得

コカ・コーラ ボトラーズジャパン（本社：東京都港区 代表取締役社長：カリン・ドラガン 以下、当社）は、任意団体「work with Pride」が策定した LGBTQ などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において「ゴールド」を獲得しましたのでお知らせします。

work with Pride



「PRIDE 指標」は、LGBTQ の人々が自分らしく働ける職場作りを進めるための情報を提供し、各企業が積極的に取り組むきっかけを提供することを目的に活動する任意団体の「work with Pride」が、企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ にとって働きやすい職場づくりを実現することを目的として策定したものです。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5つの指標で企業の取り組みが評価されます。

当社は、社員一人ひとりの個性を尊重し、多様な価値観やアイデアを積極的に取り入れ革新を生み出し続けることが重要であるとし、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）という考えの下、LGBTQ など性的マイノリティ社員に平等な機会を提供するため、社内規定の改定や研修の継続実施など、全社をあげてより働きやすい環境作り・意識改革を推進しています。具体的な取り組みは以下の通りです。

■ 社内規定の改定

2020年1月、社内規定（就業規則）を改定し、配偶者の定義に、異性であるか同性であるかは問わず、事実上婚姻と同様の関係にあるパートナーを含むものとなりました。これにより、パートナーの性別や婚姻関係の有無にかかわらず、育児休暇や介護休暇などの福利厚生制度を利用できるようになりました。また、人権ポリシーおよび D&I ポリシーに性的指向に加え、「性自認または表現」を追加しました。

■ 研修やイベントの実施

全管理職を対象とした無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）に関する研修や全社員を対象とした LGBTQ の基本的な理解促進の e-ラーニングを実施しました。また、新卒・中途入社者への研修では、LGBTQ への理解促進を目的としたプログラムも実施しています。加えて、希望する社員が参加できるオンラインイベントも開催しています。

■ 相談窓口の設置

性的マイノリティに関連する相談に対して、適切に対応するための必要な体制を整備することを目的とし、社内相談窓口を設置しました。相談窓口は性的マイノリティの当事者だけでなく、その上司や同僚も対象としており、自身のセクシャリティに悩んでいる場合や、カミングアウトを受けた側の対応など、LGBTQ に関することをサポートします。

当社は今後も、社員が働きやすい環境作りを通じ生産性を高めることにより、ステークホルダーのみなさまに、より貢献できるよう取り組んでまいります。

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。